

日本ビューティーリボン協会（運営 エアリアルリボンアカデミー）

SDGsの取組

取組・活動内容	<p>リボンのハンドメイド技術者として、リボン雑貨作成において、使用する資材をできるだけ最後まで使い切ることでできるリボン作品の考案をいたしました。ジュリアシリーズというリボンの切れ端をアレンジして使用し可愛い作品（リースやお人形）を簡単に作成できる技術を考案し、独自で立ち上げた任意団体の日本ビューティーリボン協会のリボンのレッスンとしてレッスン展開に力を入れております。</p> <p>1人でも多くのリボンのハンドメイドリボンの技術者様に、この技術の想いが伝わり、資材の買いすぎや、作成中の資材廃棄や無駄使いに気をつけたりするきっかけになればと思います。</p> <p>女性に限らず、ジェンダーレスでリボンの技能提供の拡大に努め、コロナ禍にてステイホームで自宅で過ごすことの多くハンドメイドの需要が増加したこともあり、受講者が趣味から起業できるサポートも今まで以上に取組み、ライフワークバランスを保ちながら起業ができるチャンスのある場を与えられるような活動でグローバルなフランチャイズ展開に取り組み事業の継続に取り組みます。</p>		
	目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済 5. 8. 1 2	私が考案したリボン技能の技術伝授にてグローバル且つジェンダーレスでどなたにも多様な働き方において講師として起業し活躍できフランチャイズとして収入が得られるようサポートする	全講師のうち、フランチャイズ展開として起業できるサポート実績数を2021年2割→2025年5割
	社会 1. 4、5、17	事業内容イメージが女性に偏りの強いイメージのため偏見を無くし、どなたでも技能が受けられる間口を作り受け入れ、商標登録したリボン技術区分に値する内容の活動を目指し事業の継続を図る	受講者数約2000人中、男性の割合は0%のため、ジェンダーレスでグローバルな活動に取り組みの告知を続け、需要があれば提供する（告知強化期間2025年まで年5回ホームページやSNSにて偏見を無くす内容の告知を行う）
環境 1 2	2022年考案のリボン技術のメニュー提供にて、リボンハンドメイドの作成の場面において、それぞれの技術者が資材の買いすぎや、作成中がの資材廃棄や無駄使いに気をつけたりすること	使用するリボン廃棄量の割合2021年10%→2025年1%	